



令和2年度洞峰学園つくば市立谷田部東中学校グランドデザイン



洞峰学園教育目標：夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかうえ、
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市の目指す学園・学校像

学びたくなる楽しい学園・学校

世界の明日をひらく社会力豊かな幼児・児童・生徒の育成

洞峰学園の目指す児童・生徒像		
○自ら考え、自ら学ぶ児童・生徒		
○心豊かで社会力のある児童・生徒		
○心身ともにたくましく健康な児童・生徒		
1～4年	5～7年	8～9年
身近な人と関わりながら、学習習慣を身に付け、学ぶ楽しさを味わうことができる児童	地域の人と関わりながら、学んだことを生活に生かすことができる児童・生徒	社会と関わりながら、主体的に学び、行動できる生徒

9年間の学びの連続性を大切にした教育の実践

- ・楽しく感動のある教育の実践
- ・地域に根ざした教育の推進

本校の研究テーマ： 「Society 5.0を切り開く資質・能力の育成」

～探究的（真正の学び）・協働的な学び（学び合う学び）を通して～



組織目標

— 挑戦（challenge）と創造（Innovation）を具現化する。 —

- 探究的・協働的な学びの実現
- 自治能力の育成
- 働き方改革

自ら考え、自ら学ぶ生徒	心豊かで社会力のある生徒	心身ともにたくましく健康な生徒
<p>1 確かな学力と活用する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「探求的・協働的な学びの実現」・教える授業から学ぶ授業へ ○学ぶ意欲を引き出す課題の工夫 ○ICT教育の充実 <p>2 自治能力（社会力）の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム担任制を生かした自治運営システムの構築 ○自己有用感を高める支持的風土の醸成 ・当番活動、係活動の意味の見直し ○学校行事を活かした生徒の主体的活動の推進 <p>3 キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人JSBN（日本学生社会人ネットワーク）キャリア教育プログラムの導入 	<p>4 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム担任制を生かすローテーション道徳 ・「考え、議論する」道徳の時間の在り方の追求 ○特別活動と関連付ける道徳的实践 ・生徒会活動の充実 <p>5 安全・安心な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PDCAサイクルを活かした生徒指導体制の充実 ・いじめ未然防止に向けたアンケート、各面談と不登校、いじめ対策委員会を活かした教育相談体制の確立 ○危機管理意識に基づく安全管理 ・場面を想定しねらいを明確にした避難訓練 	<p>6 学校・地域・学校が協働する生徒の主体性を生かした部活動改革の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○洞峰地区文化スポーツ推進協会（DCAA：DOHO Cultural&Athletics Academy）との連携 ○部活動シンポジウムの開催 ○外部講師や地域人材の積極的な活用（運動部活動指導員等） ○つくば市文化スポーツ連盟の設立に向けた関係機関との協働 <p>7 小中連携による9年間を見通した体力づくりや保健安全指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連携した避難訓練、交通安全教室及び日常的な安全指導の充実を図り、安全意識の高揚を図る。 ○生徒が主体的に活動できる体育的行事の工夫・改善を図る。

開かれた学校づくり

- ・各種たより、ホームページ、メール配信による情報発信
- ・PTA活動の充実と保護者との連携
- ・地域諸団体やボランティアと連携した教育活動、部活動等
- ・学校評価結果の活用と公表
- ・関係機関との連携による生徒指導の充実
- ・洞峰学園各小学校との連携・協力

職員研修の充実

- ・課題解決型モデルによる探求的・協働的な学びの研修（麻布教育研究所との連携）
- ・ICT環境を生かした学習の推進
- ・家庭と連携した学習指導
- ・特別支援教育の充実
- ・学校コンプライアンス、リスクマネジメント研修の充実
- ・ワークライフバランスと職員の健康安全の推進